

經濟論叢

第136卷 第3号

A・G・ホップウッドの記述的会計理論……………高 寺 貞 男 1

赤字国債の累積と金融・証券(下)……………西 村 貢 18

「三地域間産業協力」とソ連・東欧……………松 井 隆 幸 37

名誉教授インタビュー

岡部利良名誉教授に聞く…………… 67

経済学会記事

昭和60年9月

京 都 大 学 経 済 学 會

京 都 大 学 経 済 学 会 規 則 (抜 萃)

- 第2条 本会は左の会員をもって組織する
- (イ) 正 会 員 1. 京都大学経済学部教授、助教授、講師、助手及び同学部出身者
 2. 京都大学大学院経済学研究科学生及び同研究科出身者
 3. 評議員会にてとくに認めたもの
- (ロ) 学生会員 京都大学経済学部学生
- (ハ) 賛助会員 本会の事業を賛助するもの
- 第3条 前条のほか所定の会費を納めて「経済論叢」の頒布を受ける個人及び団体は購読会員とする
- 第4条 特別の場合に限り前2条に定められた会員以外のものにも会員に準ずる取扱いをすることができる
- 第6条 本会は左の事業を行なう
1. 機関誌「経済論叢」を発行すること
 「経済論叢」は毎月1回発行すること、ただし臨時特別号を発行することがある
 2. 「経済学研究叢書」を発行すること
 3. 毎月1回学術研究会を開催すること
 4. 毎年1回公開講演会を開催すること
- 第9条 会員には雑誌を配布する、ただし臨時特別号はこの限りでない
- 第10条 会員は左の会費を納めなければならない
- (イ) 正 会 員 年額 7,500円 (ハ) 賛助会員 年額 10,000円以上
- (ロ) 学生会員 年額 7,500円 (ニ) 購読会員 年額 7,500円

— 既 刊 目 次 —

第 136 卷 第 1 号

経営戦略論に関する若干の考察(4).....	降 旗 武 彦
いわゆる「植民地物産」について(4).....	渡 辺 尚
「ラディカルな欲望」について.....	神 谷 明
技術革新と制限的慣行.....	川 口 章
1800年前後における英領インドの拡大とイギリス東インド会社.....	今 田 秀 作

第 136 卷 第 2 号

18世紀におけるバルルマンと王権(Ⅲ・完).....	木 崎 喜代治
多国籍企業と内部化理論(上).....	板 木 雅 彦
現代における農家経済構造と負債問題(下).....	大 塚 茂
旅客輸送の時系列分析.....	張 風 波
19世紀前半期イギリスのファーニスにおける土地 寡頭制と鉄鉱山業(1).....	阿知羅 隆 雄

執筆者紹介（掲載順）

高 寺 貞 男	京都大学教授
西 村 貢	鹿児島県立短期大学講師
松 井 隆 幸	京都大学大学院学生

会員各位へ 会費は下記あて御納入下さるようお願いいたします。

1. 会費納入先 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部内
京 都 大 学 経 済 学 会
振替口座大阪0-50539番
 1. 会費年額 7,500円（前納）
 1. 会員各位の本籍、現住所、氏名、出身高校名、卒業年次、就職先を学会まで御通知下さい。
- ※ 会員外の雑誌購入は有斐閣へお申込み下さい。

昭和60年8月25日印刷
昭和60年9月1日発行

編集兼
発行人

京 都 大 学 経 済 学 会

印刷所

内 外 印 刷 株 式 会 社

京都市南区吉祥院池田南町13

発行所

京 都 大 学 経 済 学 会

605 京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町
振 替 口 座 大 阪 0 - 5 0 5 3 9 番

定価 630 円

発売所

株 式 会 社 有 斐 閣

101 東 京 都 千 代 田 区 神 田 神 保 町 2-17
振 替 口 座 東 京 6-370 番
本 郷 支 店 113 文 京 区 東 京 大 学 正 門 前
京 都 支 店 605 左 京 区 田 中 門 前 町 44

CONTENTS

A. G. Hopwood's Descriptive Theory of
Accounting *Sadao TAKATERA*

The Accumulation of the Outstanding Public
Debt and Securities Finance (2) *Mitsugu NISHIMURA*

The Role of Socialist Countries in Tripartite
Industrial Cooperation *Takayuki MATSUI*

Interview

Interview with the Emeritus Professor Dr. Toshiyoshi Okabe

Published
by
KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI
(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)